
観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	家畜育種			開講時期	2年生 後期	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	実践的な技術・知識			時間数	15 時間	
担当者名	石川豊			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)家畜の形質の遺伝を理解し、牛群の能力向上のための交配計画の作成 (2)家畜の検定や登録の仕組み等、能力評価方法の理解					
身に付ける力	牛群の能力の評価と向上に必要な知識					
到達目標	(1)家畜の形質の遺伝を理解し、後継牛の能力向上を図ることができる。 (2)家畜の能力に応じて選抜・淘汰を行い、交配計画を作成することができる。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	遺伝の原理(遺伝子の構造と機能)		2	石川豊	
	2	遺伝子の原理		4	石川豊	
	3	家畜の主要形質の遺伝		2	石川豊	
	4	家畜の選抜、交配の方法		2	石川豊	
	5	家畜の能力検定、登録		2	石川豊	
	6	新しい家畜育種技術		2	石川豊	
	7	定期考査		1	石川豊	
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	家畜解剖・疾病			開講時期	2年生 後期	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な技術・知識			時間数	20 時間	
担当者名	木本結貴、外部講師			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)牛の解剖学的構造の学修 (2)伝染病や生産病の症状・原因の学修 (3)飼養管理方法及び現場で発生する疾病の知識の習得					
身に付ける力	体調を崩した牛を早期に発見し、対処する知識や技術					
到達目標	(1)家畜の解剖学的な構造を学修し、異常を発見できる。 (2)牛の伝染病や生産病の症状・原因等を学修し、飼養管理に活かせる。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	家畜の健康状態を観察するポイントと主な症状		1	木本結貴、外部講師	
	2	解剖		3	木本結貴、外部講師	
	3	生産病		3	木本結貴、外部講師	
	4	消毒剤の有効性		1	木本結貴、外部講師	
	5	定期考査(中間)		1	木本結貴、外部講師	
	6	感染症		2	木本結貴、外部講師	
	7	細菌とウイルス		5	木本結貴、外部講師	
	8	飼養衛生管理基準		2	木本結貴、外部講師	
	9	動物用医薬品の取扱		1	木本結貴、外部講師	
	10	定期考査(期末)		1	木本結貴、外部講師	
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材	テレビ・ドクター4(デーリィマン)					
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技	30+50	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点：「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	営農計画(畜産)			開講時期	2年生 前期	
				授業の形態	講義	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	15 時間	
担当者名	大元義彦			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)畜産物価格の変動や経営安定制度に関する基礎知識の学修 (2)畜産経営に関する基礎知識の学修 (3)畜産経営計画に必要な知識や作成技術の学修					
身に付ける力	畜産経営計画を作成する知識					
到達目標	(1)畜産経営を取り巻く環境を理解する。 (2)用途別に年間の飼料費が計算できる。 (3)数年間の家畜の動態表が作成できる。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	畜産物の価格形成要因と経営安定制度		2	大元義彦	
	2	畜産経営に必要な基礎知識		4	大元義彦	
	3	飼料費の算出		4	大元義彦	
	4	家畜の動態表の作成		4	大元義彦	
	5	定期考査		1	大元義彦	
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査	知・技	80	実技テスト		
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	20	研修評価		

観点：「知・技」…知識・技能、「思・判・表」…思考・判断・表現、「態」…主体的に取り組む態度

科目名	飼料作物・草地管理演習			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	20 時間	
担当者名	石川豊、福田浩久、畜産技術部			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)飼料作物の栽培技術を習得 (2)放牧草地の持続的な管理方法を習得 (3)未利用資源(稲わら、野草)の収集・利用方法を習得					
身に付ける力	(1)自給飼料の生産技術 (2)放牧草地の管理技術 (3)未利用資源の利用技術					
到達目標	(1)飼料作物の作付計画の作成から栽培・収穫・調製ができる。 (2)放牧草地の管理ができる。 (3)未利用資源の収集・利用ができる。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	飼料作物の栽培		8	石川豊、畜産技術部	
	2	放牧草地の管理		4	石川豊	
	3	未利用資源の活用		8	石川豊、福田浩久	
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技、思・判・表	50
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	50	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	畜産飼養管理演習(酪農)			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	80 時間	
担当者名	木本結貴、大元義彦、石川豊、上野優太、田邊真之、畜産技術部、外部講師			単位数	4 単位	
科目の概要	(1)乳用牛に関する知識や技術の習得 (2)乳用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3)農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取組や管理の違いの理解 (4)研修会等で新たな知見の習得					
身に付ける力	乳用牛の飼養管理と搾乳に関する知識と技術					
到達目標	(1)乳用牛の飼養管理と搾乳ができる。 (2)県内の先進農家の取組や畜産関係機関の役割を理解する。 (3)研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	乳用牛の飼養管理と搾乳		65	木本結貴、大元義彦、石川豊	
	2	肉用牛の飼養管理		5	上野優太、田邊真之、石川豊	
	3	視察研修		10	木本結貴、大元義彦、畜産技術部、外部講師	
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技、思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	50	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	畜産飼養管理演習(肉用牛)			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	演習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術			時間数	80 時間	
担当者名	上野優太、田邊真之、石川豊、木本結貴、畜産技術部、外部講師			単位数	4 単位	
科目の概要	(1)肉用牛に関する知識や技術を学修 (2)肉用牛の飼養管理を実践し、生産管理技術を習得 (3)農家及び畜産関係機関等を視察し、先進的な取組や管理の違いの理解 (4)研修会等で新たな知見の習得					
身に付ける力	肉用牛の飼養管理に関する知識と技術					
到達目標	(1)肉用牛の飼養及び生産管理ができる。 (2)県内の先進農家の取組や畜産関係機関の役割を理解する。 (3)研修会等で得られた知識等を飼養管理に活用する。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	肉用牛の飼養管理		65	上野優太、田邊真之、石川豊、外部講師	
	2	乳用牛の飼養管理と搾乳		5	木本結貴	
	3	視察研修		10	上野優太、田邊真之、石川豊、畜産技術部、外部講師	
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技、思・判・表	30
	レポート			発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	70	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	G A P 演習 (畜産)			開講時期	2 年 生 通 年	
				授業の形態	演 習	
ディプロマポリシー	経営管理能力			時間数	20 時間	
担当者名	大元義彦、木本結貴、上野優太、田邊真之、石川豊			単位数	1 単位	
科目の概要	(1)人と家畜の健康や生産性に関する学修 (2)畜産物の安全確保に関する学修 (3)生産工程管理に関する学修					
身に付ける力	消費者から求められる畜産物の生産性や安全性につながる知識や技術					
到達目標	(1)安全で効率的な家畜の飼養管理と現場改善を実践する。 (2)畜産物の安全確保に関する知識を習得する。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	農場改善(カイゼン、スマート畜産等)		4	大元義彦	
	2	食品安全(HACCP等)		2	上野優太	
	3	家畜衛生(人畜共通感染症、薬剤耐性等)		2	木本結貴	
	4	アニマルウェルフェア		2	石川豊	
	5	労働安全		2	大元義彦	
	6	環境保全(みどりの食料システム戦略等)		2	田邊真之	
	7	人権の尊重		2	大元義彦	
	8	現場点検と改善		4	木本結貴、上野優太	
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト		
	レポート	知・技、思・判・表	50	発表・成果物		
	授業・実習態度	思・判・表、態	50	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度

科目名	経営プロジェクト実習・卒業論文(酪農)			開講時期	2年生 通年	
				授業の形態	実習	
ディプロマポリシー	実践的な知識・技術、地域活性化力、豊かな人間性			時間数	750 時間	
担当者名	木本結貴、大元義彦			単位数	25 単位	
科目の概要	(1)経営プロジェクト計画に基づき、新たな技術や改善に必要な課題を抽出し、その対策方法を検討、計画及び実践 (2)得られた結果を取りまとめて生産性及び経済性を評価し、発表					
身に付ける力	(1)酪農経営に関する基礎知識・技術 (2)課題設定、計画作成、調査の実施、取りまとめに関する手法					
到達目標	(1)収益性の向上につながる対策を計画し、実践する。 (2)実践した結果の効果を検証し、経済性を評価する。 (3)取り組んだ内容を図表等を使って取りまとめ、発表する。					
授業計画	授業内容・方法			時間数	講師	
	1	経営プロジェクト課題の設定		5	木本結貴、大元義彦	
	2	試験項目の設定		10	木本結貴、大元義彦	
	3	設計書及び中間報告書の作成		10	木本結貴、大元義彦	
	4	経営プロジェクト実習		680	木本結貴、大元義彦	
	5	経営プロジェクトの取りまとめ		30	木本結貴、大元義彦	
	6	卒業論文の作成		15	木本結貴、大元義彦	
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
15						
テキスト・副教材						
評価方法	評価方法	観点	割合	評価方法	観点	割合
	定期考査			実技テスト	知・技・思・判・表	60
	レポート			発表・成果物	思・判・表	10
	授業・実習態度	思・判・表、態	30	研修評価		

観点：「知・技」・・・知識・技能、「思・判・表」・・・思考・判断・表現、「態」・・・主体的に取り組む態度